

9月1日は、「家族防災会議の日」

市では、9月の第一日曜日を「家族防災会議の日」と定め、市民の皆様に災害への備えについて確認していただくよう推進しています。

もしもの災害に備え、家族での役割分担や連絡方法、非常持ち出し品のチェックなど日頃の備えについて、家庭でぜひ話し合ってみてください。

《わが家の防災チェックシート》

■ 家族防災会議で話し合うこと

- 災害発生時の家族の役割を決めている。
- 家族の連絡方法や集合場所を決めている。
- 避難所と避難ルートを確認している。 ⇒ わが家の避難所【 】
- 災害時要援護者（高齢者、障がい者、乳幼児など）の支援方法を決めている。
- 非常持出品を準備している。

■ 風水害に備えておくこと

- 瓦のズレやトタンのめくれを確認している。
- 雨どいの詰まりや雨戸のガタつきを点検している。
- 側溝のゴミや土砂を取り除き、雨水の排水を良くしている。
- 土のうを準備している。（浸水の恐れがある場合）



■ 非常持ち出し品チェックリスト

- 貴重品（通帳、印鑑、保険証など）
- 現金（小銭も準備）
- 非常食（乾パン、缶詰など）
- 食料（お米、レトルト食品）
- 飲料水（1人/1日 3㍑が目安）
- 携帯ラジオ（予備電池を含む）
- 懐中電灯（予備電池を含む）
- 救急医療品、常備薬
- タオル、衣類、下着、靴下
- 災害用簡易トイレ
- トイレットペーパー
- ウェットティッシュ
- ビニール袋（できるだけ大きなもの）
- 軍手、運動靴、ヘルメット
- ラップ、アルミホイル、紙皿など
- 卓上コンロ
- 燃料（液体、固形燃料など）

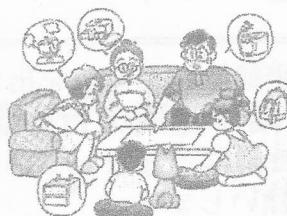
- ライター、マッチ
- 携帯電話の充電器
- その他（ ）

※乳幼児がいる場合

- 粉ミルク、哺乳瓶、離乳食
- 紙おむつ、母子手帳など

※高齢者がいる場合（必要な場合）

- 予備の老眼鏡、補聴器
- 大人用おむつ、高齢者手帳など



台風災害に備える!!

発行:糸島市役所危機管理部 危機管理課

◆糸島市にも台風はやって来る!!

平成23年の台風12号では、近畿地方を中心に98名の死者行方不明者となり、平成の台風災害としては、最悪の被害となりました。

糸島市においても過去に1時間雨量が147mm（平成3年台風）、92mm（平成21年大雨）の猛烈な雨を観測しており、大雨による災害は、他人事ではありません。

「糸島市にも台風は襲来する」と思い、日ごろから個人や家庭で対策を考えておくことが必要です。

◆気象情報に注意!!

テレビ、ラジオ、防災行政無線、防災メールなどで常に気象情報を収集しましょう。



◆台風接近中は、不要な外出は絶対に控えましょう!!

台風接近中に家の外に出ることは、非常に危険です。

不要な外出は極力避け、田んぼや水路を見に行かないでください。



◆土砂災害に注意!!

土砂災害の前兆を

確認 →

- 山からうなるような音がする。（山鳴り）
- 川の水が急に濁る。
- 雨が降り続いているのに、川の水かさが減り始める。
- がけや斜面から水が噴き出す。
- がけから小石が落ちてくる。

※このような前兆は、土砂災害の発生が十分考えられます。前兆に気づいたら早めに避難しましょう。

◆市役所から発令する避難情報は3種類!!

避難準備情報

… 通常の避難行動ができる人は、避難の準備を始めます。
避難に時間がかかる要援護者は、避難を開始します。

避 難 勧 告

… 人的被害が発生する恐れがあるときに避難を促します。

避 難 指 示

… 人的被害が発生し、又は人的被害の発生が切迫したときに発令しますので、必ず避難してください。



市が避難勧告や指示を出す前でも「怖い・危ない」と思ったら、すぐに自宅の2階や近所の行政区公民館、市指定の避難所に避難してください!
夜間や道路が冠水してからの避難は大変危険ですので、できるだけ早めの避難をお願いします。